

実務経験教員担当科目一覧

リハビリテーション学科 作業療法専攻

No	科目名称	学年	単位	科目概要
1	医用情報処理学	3	1	<p>コンピュータの普及によって、多様なデータベースを療法士自身で作成できるようになり、日々の療法士業務で活用されている。本講義ではデータベースの基本的な構造とその作成について講義する。また、データベースの作成・編集、およびデータのグラフ描画に関わる様々なMS-Excelの機能に習熟することを目的とした演習を行う。データをグラフ化するなかで、データの特性に対応したグラフを選択する論理過程や、情報を適切に表現する技術を習得する。</p> <p>本科目は、ICT（タブレット端末およびe-learningプラットフォーム）を活用し、情報リテラシー教育の一部を担う。</p> <p>実務経験を有する理学療法士が講義・演習を一部担当する。</p> <p>本年度は対面授業を行う。</p>
2	コンピュータープログラミング	3	1	<p>工学、理学、医学をはじめとした幅広い専門的データ処理を行うためのプログラミング言語である「MATLAB」を活用して、変数、配列インデックス付け、算術演算、ループと条件付きステートメントなど、C言語やPythonなど様々なプログラミング?語と共に基本的な構造について講義する。また、実践的なデータサイエンス教育となるよう、企業の各種活動支援ロボット（機器）及びその基礎データを用いて実社会から得られた人間の行動データや生体信号についての比較を統計解析などを行い、また、これらの専門的解析を行うためのプログラミング技法（アップロード、信号処理、データ可視化など）を習得することで企業への問題解決策を提案できる能力を習得する。</p> <p>本年度は対面授業を行う。なお、本大学病院リハビリテーション部において実務経験を有する理学療法士が授業を担当する。</p> <p>本科目は、数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）における教育プログラムの一部を担う。</p>
3	言語機能学	3	1	<p>コミュニケーションをとること、食事をすることは、人間が生きて活動するために欠かせない重要な機能である。本講義では、1.人だけが自由にことばを操るようになった背景、2.ことばを生み出す解剖学的・生理学的メカニズム、3.ことばを含めたコミュニケーションの機能、および摂食・嚥下のメカニズム、その発達、獲得、老化（減退）について学習する。なお、本大学病院リハビリテーション部において言語聴覚士の実務経験を有する教員が授業を行う。</p> <p>対面授業を基本とする。</p>
4	言語療法学	3	1	<p>言語聴覚障害の特徴とその発生機序、症状の概要を学習する。</p> <p>コミュニケーション障害と摂食・嚥下障害を疑似体験することにより、目に見えない障害である言語聴覚障害と摂食嚥下障害に関して、障害によって生じる一次的問題と付隨して生じる二次的問題について理解する。また、介助者の疑似体験を通して、介助者が抱える精神的、社会的問題についても同時に理解を深め、リハビリテーションの目的とあり方について深く考える。なお、本大学病院リハビリテーション部において言語聴覚士の実務経験を有する教員が授業を行う。</p> <p>対面授業を基本とする。</p>
5	言語病理学	3	1	<p>理学療法、作業療法の対象となる方々の多くは、種々のコミュニケーション障害を併存している。患者を全人的に理解しリハビリテーションを行っていくためには、これら障害を理解し適切な対応をとることは必須である。本講義では、コミュニケーション障害を含む高次脳機能障害についての文献的研究とグループ討議により様々な側面から分析し、深く考察する。なお、本大学病院リハビリテーション部において言語聴覚士の実務経験を有する教員が授業を行う。</p> <p>対面授業を基本とする。</p>

実務経験教員担当科目一覧

リハビリテーション学科 作業療法専攻

No	科目名称	学年	単位	科 目 概 要
6	地域リハビリテーション学	3	1	<p>介護保険制度を中心に学び、地域リハビリテーションにはどのような関連施設や職種の人々が関わり業務が行われているかを学習する。</p> <p>具体的には介護老人保健施設での業務内容について説明し、疾患別の住環境整備や福祉用具の使用方法を理解する。また、生活行為向上マネジメント（MTDLP）についての概要を説明し、事例について学習する。</p> <p>本学大学病院リハビリテーション部において実務経験を有する作業療法士が授業を担当する。</p> <p>本年度は対面授業を行う。</p>
7	職業関連活動学	3	1	<p>地域における理学療法士・作業療法士の役割も増え、障害を持ちながら就労を目指す人たちへの役割も求められている。</p> <p>就労支援に関する理学療法士・作業療法士の役割を修得するため、職業リハビリテーションの概要、障害者雇用の現状、就労支援施設における現状、就労支援のあり方、医療的援助におけるリハビリテーションの重要性や実施方法について講義する。また、国家試験に出題される内容についても解説、講義する。</p> <p>なお、就労支援の実務経験を有する教員が授業を行う。本年度は対面授業を行う。</p>
8	作業療法研究概論	3	1	<p>研究法の流れと、研究疑問を解決するための手法について解説をする。研究目的および意義の明確化、研究計画の立案、データの解析、文献レビューおよび考察をまとめる作業をグループワークで実際に経験することで、研究に必要な手順を体得する。</p> <p>なお、本大学リハビリテーション部において研究解析の実務経験を有する教員が講義を行う。</p> <p>本科目は、数理・データサイエンス・A.I教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）における教育プログラムの一部を担う。病院臨床で得られた実際のデータを使用して、情報解析を実施する。</p> <p>本年度は対面授業を行う。</p>
9	表面解剖学	3	1	<p>機能評価の手段として視診、触診の位置づけについて学ぶ。具体的には体表から触れられる骨・筋の基礎的な触察技術を学び、筋の起始停止・神経支配・走行の理解を深める。</p> <p>なお、本学大学病院リハビリテーション部において実務経験を有する作業療法士が授業を担当する。</p>
10	作業療法教育・管理学概論	3	1	<p>作業療法の職場管理において求められる管理業務の基本、臨床教育の基本について学ぶ。</p> <p>医療法人 羔羊会 弥生病院において教育・管理の実務経験をもつ作業療法士が講義をする。作業療法士に必要な、部門を管理する能力と後進を育成する手法を学ぶ。</p> <p>なお本学大学病院リハビリテーション部において実務経験を有する作業療法士が授業を担当する。</p>
11	作業療法治療学 7－内部障害	3	1	<p>呼吸器疾患、循環器疾患、糖尿病、悪性新生物の基礎知識とリスク管理、訓練プログラムについて学ぶ。</p> <p>疾患による非活動性がもたらす悪循環と心理面や生活の質の悪化について理解を深める。</p> <p>作業療法士に必要な能力を身に付けるため、病院・施設等の臨床現場における、担当症例の検査・測定等の評価及び問題点の抽出、治療プログラムの立案を学ぶ。</p> <p>なお、本大学病院リハビリテーション部において実務経験を有する作業療法士が授業を行う。</p>

実務経験教員担当科目一覧

リハビリテーション学科 作業療法専攻

No	科目名称	学年	単位	科目概要
12	作業療法治療学 8 - 精神障害	3	1	<p>精神障害の特性、および関連する治療や評価など作業療法の現状について学ぶ。</p> <p>現在の精神科医療及び作業療法はその成立過程と社会変化から強く影響を受けているため、その点についても学ぶ。</p> <p>授業は、精神科作業療法の臨床で10年の実務経験を有する教員が講義形式で行う。</p> <p>ICT活用として、オンラインでの資料配布、質疑応答を実施。また授業中にオンラインでの情報収集やグループでのディスカッションを行い、パワーポイントで発表資料を作成する。</p> <p>本年度は対面授業を行う。</p>
13	作業療法治療学 9 - 小児	3	1	<p>運動及び認知機能の正常発達について講義する。</p> <p>発達障害作業療法の代表的疾患について講義する。</p> <p>発達障害に対する作業療法について講義する。</p> <p>なお、発達領域において実務経験を有する作業療法士が授業を行う。</p> <p>本年度は対面授業を行う。</p>
14	作業療法治療学演習	3	1	<p>作業療法治療学で学習する代表的な疾患（脊髄、運動器、脳血管、精神）について理解を深める。</p> <p>ICFを活用した症例検討を通して、作業療法に必要な評価・治療などの臨床思考過程を学ぶ。</p> <p>演習の方法や内容は各疾患の特性に合わせて行う。</p> <p>なお、本大学病院リハビリテーション部において実務経験を有する作業療法士が授業を行う。</p>
15	作業学 1 - 革細工・藤細工	3	1	<p>作業療法の治療手段である革細工・藤細工を実施する。作業を治療に用いる際に必要な基本的な知識と技術を習得する。作業を実施する際の動作を分析し、その結果から作業療法治療計画立案が出来ることを目指す。</p> <p>なお、本大学病院リハビリテーション部において作業療法士の実務経験を活かし、作業療法士に必要な能力を身につけるため、病院・施設等の臨床現場において活用できる実践的な知識・技術について学ぶ。本年度は対面授業を行う。</p>
16	作業学 2 - 木工・陶芸	3	1	<p>作業療法の代表的アクティビティである陶芸・木工について学ぶ。</p> <p>作品を制作を通して作業分析・動作分析を行い、作業工程や道具を覚えるとともに、各作業の特徴を知る。また、臨床的効果とリスクを知り、作業療法での治療的応用を考察する。</p> <p>なお、本大学病院リハビリテーション部において実務経験を有する作業療法士が授業を行う。</p>
17	客観的臨床能力演習 3	3	1	<p>学生同士の小グループ（模擬患者役、療法士役、実施内容確認役）に分かれ、講義内容に記された項目を通して臨床上必要な能力低下に対する介入および動作分析について学習し、各自に対し試験（客観的臨床能力試験：OSCE）を実施する。</p> <p>なお、病院において、理学療法士・作業療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。</p>
18	地域作業療法学 1 - 高齢者・身障	3	1	<p>老年期の特徴と障害について講義する。</p> <p>特に、</p> <p>1) 老年期に伴う疾患、老年期障害に関する作業療法の評価、介入方法、社会資源、関連制度について講義する。</p> <p>2) 認知症の疾患の種類、症状、コミュニケーション、接し方について講義する。</p> <p>なお、本大学病院リハビリテーション部において作業療法士の実務経験を有する教員が授業を担当する。</p> <p>対面授業で実施する。</p>

実務経験教員担当科目一覧

リハビリテーション学科 作業療法専攻

No	科目名称	学年	単位	科目概要
19	地域作業療法学2-精神・児童	3	1	地域における作業療法の役割と地域における作業療法の実践を学修する。 地域での精神保健福祉領域、小児発達領域での作業療法実践を学び、包括的な保健・医療・福祉サービスや教育に貢献する作業療法のあり方について学修する。 なお、精神科作業療法の実務経験、地域での子ども分野の実務経験を有する教員が授業を行う。 本年度は対面授業を行う。
20	地域リハビリテーション学実習	4	1	臨地実習での経験を通して、臨床実習指導者の指導・監督のもと、地域包括ケアシステムにおける作業療法士の役割を理解し、地域包括ケアシステムに関与する関連専門職の役割を理解する。なお、一部は本大学病院リハビリテーション部において作業療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。
21	作業療法学特論	4	1	作業療法士が対応する多彩な障害像を把握し、現状の作業療法で行われている評価法、治療法について考察する。臨床思考過程における、評価結果からのICFを用いた生活および個人の全体像の把握を行い、問題点の抽出をする。さらに作業療法介入へ思考を進めるための講義をする。これらは国家試験問題の内容に沿って実施し、国家試験に必要な知識の定着を目指す。 ICT利活用による自主学習教材を提供する。 なお、本大学病院リハビリテーション部にて作業療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。
22	臨床研究	4	2	担当教員の指導下、班別の研究活動を行う。具体的には各学生、グループがテーマを決め、学生自ら実験の計画、データ収集、分析ならびに発表を行う。 なお、本大学病院リハビリテーション部において理学療法士・作業療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。